



「木」の持つ温かみのある優しさと 力強さを強調した校舎

上川沿小学校の

完成近づく

校舎の改築を期に、城南小学校との学区の再編も併せて行われている、上川沿小学校の改築工事が順調に進んでいます。新校舎は3月に、体育館は4月に完成の予定です。新学期からは新しい学区の下、新しい気持ちで、しかも、新しい校舎で勉強ができるようになります。なお、グラウンドは夏ごろ完成の予定です。

新しい学区はこうなる

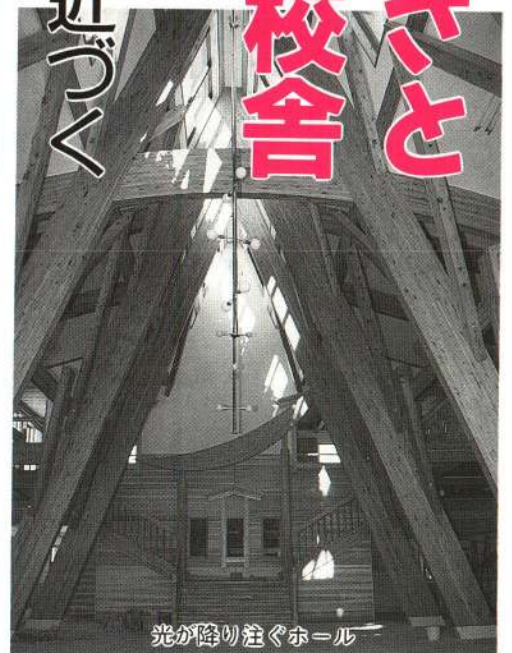
現在の城南小学校の学区の一部が上川沿小学校の学区に編入されます。編入される町内は、南ヶ丘、雇用促進住宅、たつみ町、緑ヶ丘、南たつみ町、池内、萩野台一・二区、柄沢の一部（通称東たつみ町、山王台団地）です（図1参照・詳しいことは教育委員会学校教育課にお尋ねください）。

この学区再編により、約百八十人の児童が城南小学校から上川沿小学校に学区替えになる予定です。その結果、六百七十人ほどの児童数であった城南小学校は約五百人に、七十人ほどの児童数であった上川沿小学校は、約二百五十人規模になる見込みです。

新校舎はどんな校舎

最近、木の持つやわらかさ、温かさが情操面で見直されてきています。そこで、骨格のみならず、校舎の内外装にもふんだんに木を利用した、温もりのある木造校舎としました。

新校舎は、中央に正面玄関、ホールを配置、続いて児童、先生が全員で給食をとれるランチルーム、音楽室があります。また、ホールから二階に上がってすぐに図書室があります。西側には中庭を囲んでワークルーム付きの平屋建ての普通教室棟、その奥に体育館が配置されています。東側には、二階が特別教室、一階が管理諸室の棟が配置されています（図2参照）。



光が降り注ぐホール